

広幅核磁気共鳴装置 広幅NMR(Wide-line Nuclear Magnetic Resonance)

原理

パルス(磁場)を照射したあと、ソフト成分とハード成分の運動性の違いによって、磁化の減衰の速さが異なる。

実測減衰曲線を各々の減衰曲線に分割しこれを解析することで、ソフト及びハード成分の割合を定量することができる。

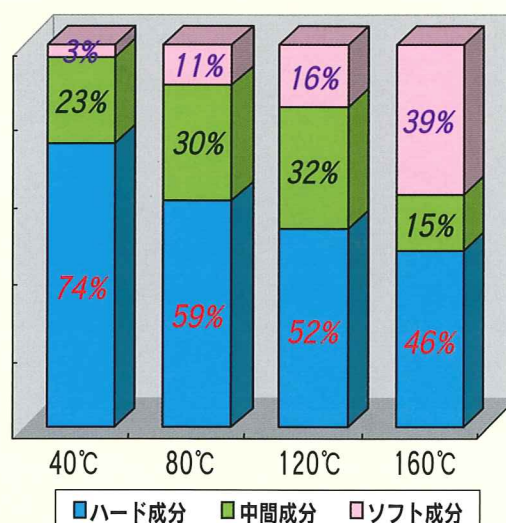
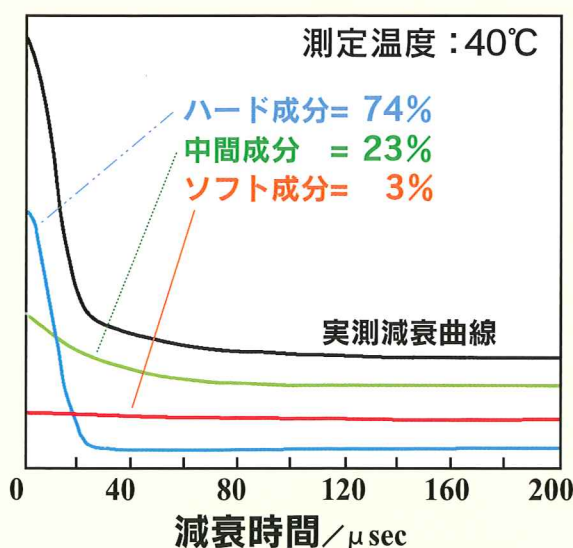
特長

- 分子運動性を直接評価できる
- サンプル形状の制約がない
- **サンプル量**：1 g 程度
- **測定温度範囲**：-70~150℃
- 多成分系のデータ解析も可能



測定試料のサンプル形状の一例

ポリプロピレンの各温度におけるハード・ソフト成分の割合



株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851